



ハーベス

L/R/LS/RS **HL Compact 7ES2** ¥290,000 (ペア)×2

●形式:2ウェイ2スピーカー・バスレフ型 ●使用ユニット:20cmコーン型ウーファー、25mmハードドームトウィーター ●インピーダンス:8Ω ●能率:86dB/W/m ●クロスオーバー周波数:3kHz ●寸法/質量:W271×H520×D315mm/12.5kg ●問合せ先:エムプラスコンセプト:☎045 (845) 7639

HARBETH

SPEAKER SYSTEM

でした。リスニングルームで大音量でスピーカーをにらみつけて聴くというタイプじゃなくて、リビングルームで音量を抑え目にして、爽やかに楽しむスピーカーじゃないかな。

小原 低域は豊かなんですが、スネアドラムやタムなど、中低域がやや凹んで聴こえた。アタックの表現が重要なロックやジャズよりも、クラシック向きかもしれないですね。ムターのヴァイオリン・コンチェルトがすごく気持ちよく聴こえましたから。

潮 そうそう。弦の柔らかな響きは絶品でした。それからチック・コリアのライブは、このシステムで聴く限りマルチのほうがよかったです。凝縮型というよりは拡散型の音場で、実にスムーズに音が広がっていく。

山本 ヨーロッパ人の知性が凝縮された大人の「ライフスタイル・オーディオ」って感じじゃないですか。音質もデザインも。

亀山 ぼくは自分のリスニングルームで大型スピーカーと格闘するように音を聴いているわけですが、実はこういうスピーカーをリビングルームに置いてみたいという欲望はあるんですよね。

潮 あ、俺も(笑)。そういう生活に憧れる自分がいるよね。このスピーカー、別荘に置きたいよね、あ、もし持っていればね(笑)。

**お帰りなさい。ハーベス！
黄金の帯域バランスで聴かせる
エバーグリーン・サウンド**

山本 3機種目は、久々に復活した英国ハーベスのHLコンパクト7ES2。80~90年代にわが国で一世を風靡したHLコンパクト・シリーズの第

3世代に当たるモデルです。94年に発表された前作をベースに耐力やS/Nの向上を図った新世代機です。本機は純然たるステレオ・スピーカーとして開発されたモデルですから、今回はステレオペアを2組借用し、4・0ch再生でマルチチャンネルに対応させました。

20cm樹脂製コーン・ウーファーとアルミのハードドーム・トウィーターを組み合わせた2ウェイ機ですが、20cmコーンは、周波数特性を最適化するために、中心から周辺にかけて3種類のポリマーの組成を変えて成形した同社オリジナルのダイアフラムが使われています。また、エンクロージャーの板厚はかなり薄く、適度なダンピングを行ないながらハコをうまく響かせるハーベスお得意の手法が取られています。ぼくは、以前HLコンパクト、コンパクト7を使い継いできた経験があるだけに、ハーベスのこのシリーズの復活はすごくうれしんですよ。

亀山 思わず「お帰りなさい」と言いたくなるような、ハーベスのイメージ通りの響きの美しいナチュラルな音を聴かせてくれましたね。

小原 ちよっとノスタルジックな響きを感じるんですが、いわゆる古いヴィンテージの音じゃないんですよ。

山本 ノスタルジックっていうのは、見た目の印象でそう感じるんじゃないかな。これ、決して懐かしがるような音じゃないと思うよ。あえて言えば、黄金の帯域バランスに支えられた「エバーグリーン・サウンド」。新しいとか古いっていう尺度を超えた音だと思ふな。

亀山 いろいろなディスクを聴きましたけど、確かに完成された普遍的な音色美を感じましたね。とくに声が素晴らしい。

潮 そう。ボズ・スキヤッグスの潤いのある男っぽいヴォーカルに惚れ惚れしました。中低域がすごく充実しているから、何を聴いても安心感があるよね。

亀山 エラックの310JUBILEE等に比べると、低音はタイトに引き締まっているという感